

認知症の人の思い

今までは、認知症の人がその苦悩を自分自身のことは話すことは難しいと考えていたかもしれません。

また、認知症になると、何もわからなくなるという誤解を招いてきたこともありました。



私の思いを知っていますか？
私たちの声を聴いてください。

私たち抜きに
私たちのことを
決めないでください！

「理解しがたい行動をとったとしても、
どうか**価値のある人**として、敬意を
持って私たちに接してください。」

「話の内容よりも、その時の**話し方、
表情、トーンなどの感情が残ります。**」

「不安でつぶれそうだった。症状は人によって
違うので、**その人に合わせた接し方**をして
ください。」

「私たちをケアする、マニュアル本は
ありません。
1人の個性を持った人として認め、
愛してください。」

認知症の人のとらえ方

昔

何もわからなくなる。感じない。→介護者本位

今

想像以上にわかっていることがあり、
五感や心は豊かに生きている。→本人本位

昔

何もできなくなる。→介護者本位

今

「できる」力を多く秘めている。
うまく力を発揮できないだけで、
チャンスがあれば力を発揮できる。→本人本位

こちらが「見ている」以上に、
認知症の人は、私たちをよく
「見ている」よ。

